

9-1 接続詞の基本

Step 1

接続詞を使用して、次の日本語を英訳してください。使用した接続詞を [] に記入してください。

(1) A と B

[] _____

(2) A または B

[] _____

(3) A および B の両方

[] _____

(4) A あるいは B のいずれか

[] _____

(5) A すなわち B

[] _____

(6) A ではなく B

[] _____

(7) バター付きパン

[] _____

Step 1 の解答・解説

最も基本的な接続詞は and (と、および)、but (しかし、～だが)、or (または、あるいは) です。以下は、これらの接続詞を用いたさまざまな表現です。なお、これらに for を加えて、対等な関係で結び付けるところから**等位接続詞**と呼ばれます。他方、英文を主節と従属節に分ける特徴のある接続詞を**従位接続詞**といい、while、though、if、as などがあります。

(1) [and] A and B

「A and B」(AとB) は、A と B の両方であることを示す一般的な表現です。3つ以上を列挙する場合は、「A, B and C」(または「A, B, and C」) となります。「A, B and C, and D」のような英文は、カンマを適切に解釈して誤解のないように訳します。(訳例：「A、B、C (の組み合わせ)、およびD」)

(2) [or] A or B

「A or B」(AまたはB) は、A または B のどちらか一方であることを示す一般的な表現です。接続詞 or は「または、あるいは」のように訳します。

(3) [and] both A and B

「both A and B」は「A と B」の両方を強調する表現です。

(4) [or] either A or B

「either A or B」は「A、B のいずれか」を意味する表現です。

(5) [or] A or B

接続詞 or には「言い換え」であることを示す「すなわち」の意味があります。

(6) [but] not A but B

接続詞 but は not を伴い「～ではなく」の意味になります。なお、**反意接続詞**には、however (とはいえ)、yet (それでも、その上)、still (それでも)、nevertheless (それにもかかわらず)、while (なのに)、whereas (～ところの、～なのに)、only (ただし) などがあります。

(7) [and] bread and butter

2つのものが「一体化」している場合は bread and butter (バターを塗ったパン) で1つの概念を表します。

Step 2

次の [] 内に適切な語 (both か either のいずれか) を記入してください。

(1) [] A and B or C (A と B か、A と C)

(2) [] A and B or C (A と B か、C のみ)

文法解説・ここがポイント

接続詞とは、語、句、節などを互いに結びつけるものであり、等位接続詞の代表的なものに and、but、or などが、従位接続詞には if、when、whether、that などがあることは Step 1 で学びましたが、however、therefore、otherwise のように副詞が接続詞的に用いられるものもあります。ここでは、and、but、or の3つの最も代表的な接続詞を取り上げてみましょう。

(1) andの用法

and は連結を示す等位接続詞で、次のような基本用法があります。

① 対等もしくは並列の関係にある語句同士を結ぶ

名詞と名詞、形容詞と形容詞、動詞と動詞など、同じ品詞を結び付けるほか、句と句、節と節、文と文などを結びつける働きをします。この用法では「～と／や、および」のように訳します。and の意味を強調する表現として副詞 both を用いた both A and B (A と B の両方) があります。

② 時間的順序

「～してから…する」のように、異なる手順などを表す場合に「～ and (then) …」の形で用いることがあります。時間的順序を表す場合は first、second (next)、then のような語句を用いることができますが、and だけでも and then の省略形としての働きがあります。

③ 軽い因果関係

「～なので…である」のように、前半で原因や理由を表し、and 以降で結果や結末などを表す際に用いられます。「～ and (therefore) …」の省略形とみなすこともできます。

④ 同時性

and には「～しながら…する」(while) や「～すると同時に…する」(at the same time) の意味もあります。Press the shift key and click the button (シフトキーを押しながらボタンをクリックしてください。) のように、何か2つのことを同時に行う場合などに用いられます。同時性を表す副詞としては、simultaneously や concurrently があります。

⑤ 一体

bread and butter (バターを塗ったパン、バター付きパン) のように2種類のものが一体化して1つの概念を表している場合にも and が用いられます。

⑥ 進行、変化、時間経過

「そして、さらに」のように「状態の変化、時間的な進行」などを表します。

⑦ 「命令形+ and」

「～しなさい、そうすれば」の意味です。

(2) but の用法

but は「しかし、～だが」を意味し、対比、対立、対照などを表す等位接続詞です。but で結ばれる語句は、論理的に対比するものや、互いに反対の意味を持ちます。一方、日本語の「～だが」は英語の but よりもはるかに多義的な意味を持ち、丁寧表現の一種であったり、文と文を単に結びつけたりする働きをする場合もあり、英語の and に近いこともあります。

but ははっきりと前後の対立・対照関係を示す接続詞ですので、事実上対立関係がなければ次の例のように and を使います。He supports his family on his small salary and is proud of the fact that he isn't on welfare. (彼は安月給で家族を養っているが、生活保護を受けていないことを誇りに思っている。)

対比を表す副詞句としては、on the other hand (その一方で) がよく使われます。

(3) or の用法

or は選択を示す等位接続詞で、以下のような基本的用法があります。

① 「または、あるいは、～のいずれか」

or の意味を強調する表現として、either A or B (AまたはBのいずれか) があります。

② 「命令形+ or」の形

「～しなさい。さもないと」の意味で用いられます。

③ 「すなわち、言い換えれば」

A or B で「A すなわち B」の意味です。or rather (さらに厳密に言えば) の省略形と考えることもできます。

Step 2 の解答・解説

(1) [both] A and B or C (A と B か、A と C)

先頭に both を付けると、both [A] and [B or C] という区切りであることが明示されます(「B or C」が1つのまとまりとみなされます)。ということは、「AとB」か「AとC」ということになります。

(2) [either] A and B or C (A と B か、C のみ)

先頭に either を付けると、either [A and B] or [C] という区切りであることが明示されます(「A and B」が1つのまとまりとみなされます)。ということは、「AとB」または「C」ということになります。なお、否定の場合は neither ~ nor となります。